

広島県内中小企業 景況調査結果

建設業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年1月～3月期 実績
平成15年4月～6月期 見通し

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成15年3月12日
(2) 調査対象期間 平成15年1月～3月期 実績
平成15年4月～6月期 見通しについて調査した。

2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金1億円以下、又は従業員300人以下の企業、小売業、サービス業については、資本金1千万円、又は従業員50人以下の企業を対象とした。

3. 調査方法

原則として、商工会(県内14)、商工会議所の経営指導員及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し聴き取りによって行った。

4. その他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加(上昇、好転、長期化)企業割合と減少(低下、悪化、短期化)企業割合の差を示すものである。

II. 建設業の景気動向

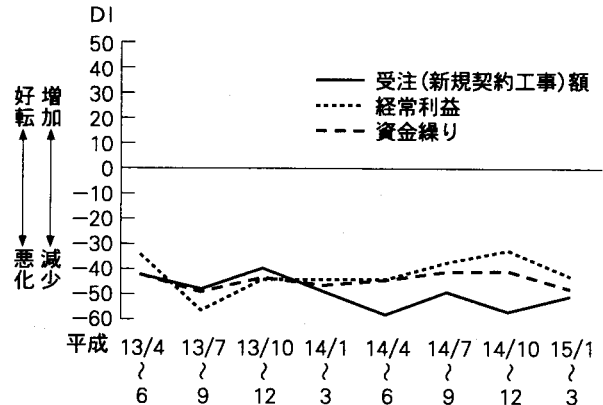
1. 概況(前年同期比)

業況は悪化。

平成15年1月～3月期の業況を概観すると、前年同期と比べた受注(新規契約工事)額、経常利益、資金繰りとも減少、悪化した企業が増加、好転した企業を上回っており、業況も悪化している。

【DI値】受注(新規契約工事)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示し、依然として厳しい状況がうかがえる。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 1月～3月期の動向

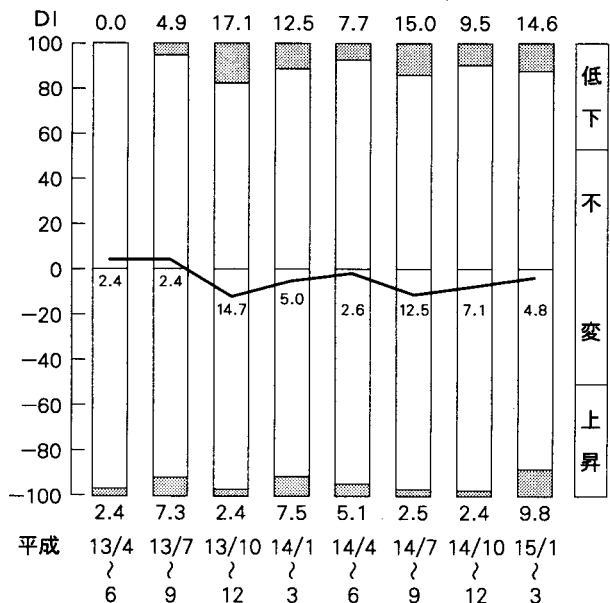
(1) 受注(新規契約工事)額は減少(前年同期比)

前年同期と比べた今期の受注(新規契約工事)額の増減状況については、増加した企業が12.2%、減少した企業が63.4%となり、DI値はマイナス51.2となり、減少している。

(2) 材料仕入単価は不変(前年同期比)

前年同期と比べた今期の材料仕入単価については、上昇した企業9.8%、低下した企業14.6%、不変75.6%となっている。

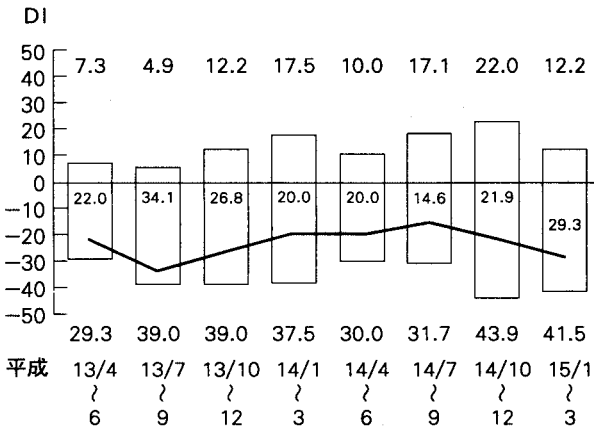
材料仕入単価の動向 折線は「上昇」-「低下」



(3) 経常利益は悪化(今期)

今期の経常利益の状況は、増加12.2%、減少41.5%で、DI値はマイナス29.3となり、前期のDI値マイナス21.9と比較して悪化している。

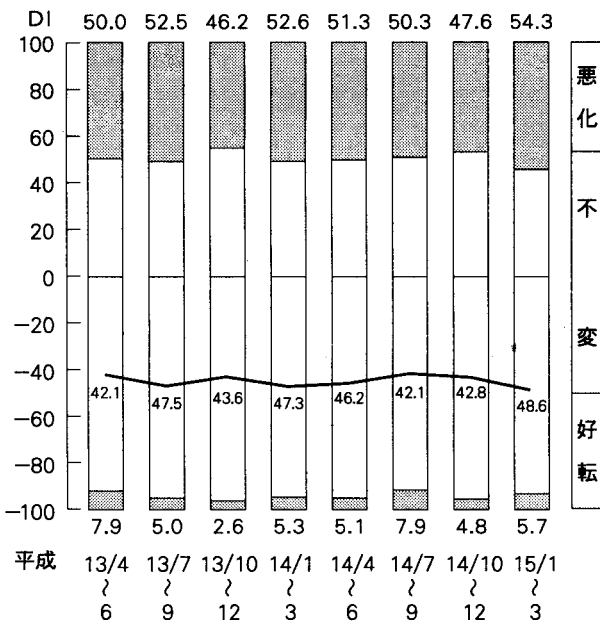
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りは依然悪化(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業5.7%、悪化した企業54.3%、DI値はマイナス48.6%とマイナスとなっており、前年同期(マイナス47.3)と比べ依然悪化傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 4～6月期の見通し

業況はやや改善

今期と比べた来期の見通しについてみると、受注(新規契約工事)額、資金繰、経常利益共に、減少と答えた企業が多いものの、全体としての来期の業況はやや改善傾向を示している。

建設業 主要項目の来期の見通し

項目	期	
	1～3月期	4～6月期
売上額		DI
		-57.5
経常利益		DI
		-51.3
資金繰り		DI
		-41.5
業況		DI
		-50.0

建設 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 1～3月期	民間需要の停滞 (41.0%)	官公需要の停滞 (35.9%)	請負単価の低下 (12.8%)
平成14年 4～6月期	民間需要の停滞 (32.4%)	官公需要の停滞 (32.4%)	請負単価の低下 (16.2%)
平成14年 7～9月期	官公需要の停滞 (43.6%)	民間需要の停滞 (28.2%)	請負単価の低下 (7.7%)
平成14年 10～12月期	官公需要の停滞 (39.5%)	民間需要の停滞 (23.7%)	請負単価の低下 (18.4%)
平成15年 1～3月期	官公需要の停滞 (41.0%)	民間需要の停滞 (25.6%)	請負単価の低下 (17.9%)

広島県内中小企業景況調査結果

製造業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年1月～3月期 **実績**
 平成15年4月～6月期 **見通し**

Ⅲ. 製造業の景気動向

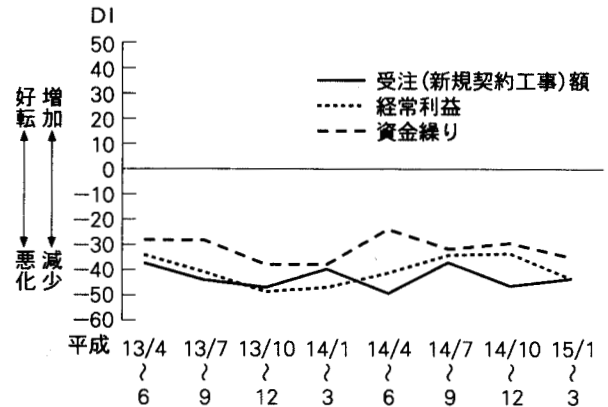
1. 概況(前年同期比)

業況は停滞。

平成15年1月～3月期の業況を概観すると、前年同期と比べた売上(加工)額、は下降しているものの、経常利益、資金繰りともに上昇している。全体として、業況はやや改善傾向にある。

【DI値】売上(加工)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 1月～3月期の動向

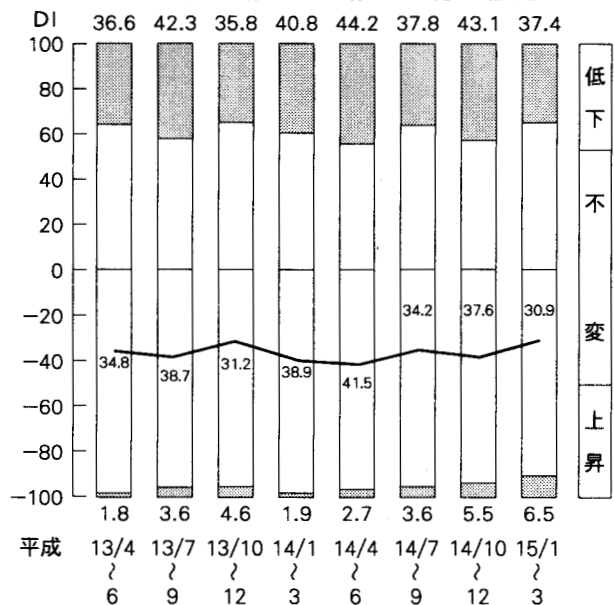
(1) 売上(加工)額は減少(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(加工)額の増減状況については、増加した企業が15.0%、減少した企業が57.0%となり、DI値はマイナス42.0%となり、減少している。

(2) 売上(加工)単価は不変(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(加工)単価については、上昇した企業6.5%、低下した企業37.4%、不変56.1%となっている。DI値は6.7ポイント上昇している。

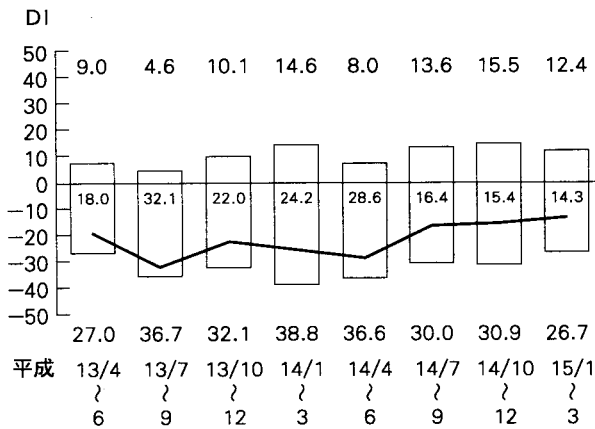
売上(加工)単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



(3) 経常利益は横ばい(今期)

今期の経常利益の状況は、増加12.4%、減少26.7%で、DI値はマイナス14.3となり、前期のDI値マイナス15.4と比較して1.1ポイント上昇している。

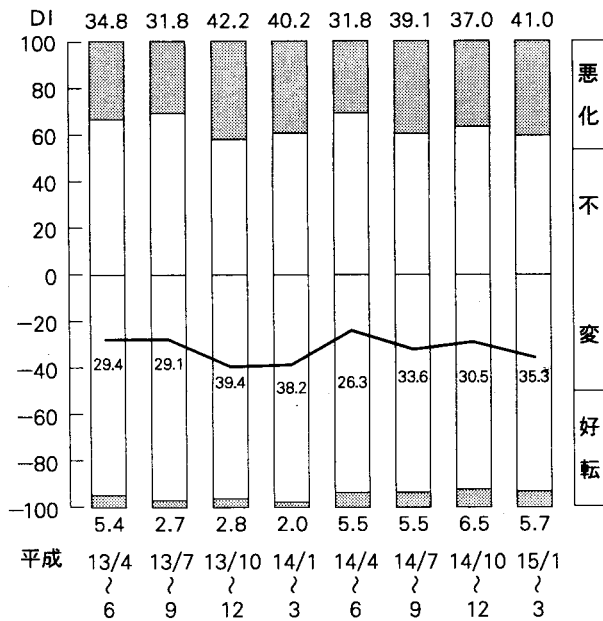
経常利益の水準 折線は「黒字」-「赤字」



(4) 資金繰りは悪化(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業5.7%、悪化した企業41.0%と低下しており、DI値はマイナス35.3と悪化傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」-「悪化」



3. 4～6期の見通し

業況悪化傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上(加工)額、経常利益、資金繰ともに下降傾向にあり、来期の業況は悪化との判断を示している。

製造業 主要項目の来期の見通し

項目	1～3月期	4～6月期
売上額		DI
		-39.1
経常利益		DI
		-36.9
資金繰り		DI
		-28.9
業況		DI
		-35.4

製造 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 1～3月期	需要の停滞 (39.4%)	加工単価の低下 (20.2%)	製品ニーズの変化への対応 (10.1%)
平成14年 4～6月期	需要の停滞 (31.0%)	加工単価の低下 (21.0%)	製品ニーズの変化への対応 (12.0%)
平成14年 7～9月期	需要の停滞 (38.9%)	加工単価の低下 (26.9%)	大企業の進出による競争の激化 (8.3%)
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (43.6%)	加工単価の低下 (21.8%)	大企業の進出による競争の激化 (10.9%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (35.6%)	加工単価の低下 (25.7%)	製品ニーズの変化への対応 大企業の進出による競争の激化 (7.9%)

広島県内中小企業景況調査結果

小売業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年1月～3月期 **実績**
 平成15年4月～6月期 **見通し**

IV. 小売業の景気動向

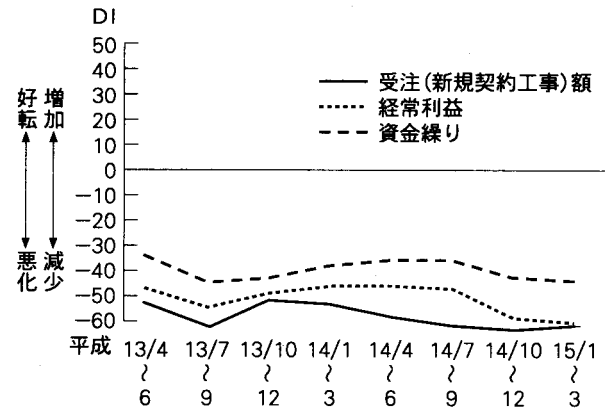
1. 概況(前年同期比)

業況は悪化。

平成15年1月～3月期の業況を概観すると、前年同期と比べ、売上額、経常利益、資金繰りともに下降傾向にある。

【DI値】売上額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、全体として下降傾向にあるといえる。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 1月～3月期の動向

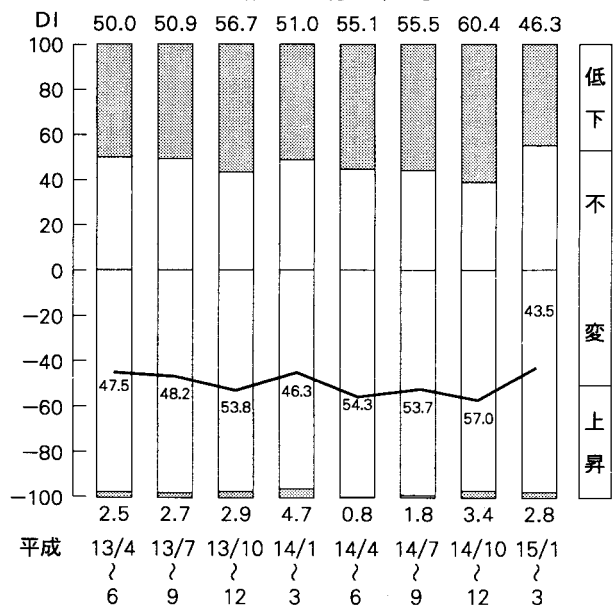
(1) 売上額は減少(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上額の増減状況については、増加した企業が10.2%、減少した企業が72.2%、DI値はマイナス62.0となっている。

(2) 客単価は不変(前年同期比)

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業2.8%、低下した企業46.3%、不変50.9%となっている。

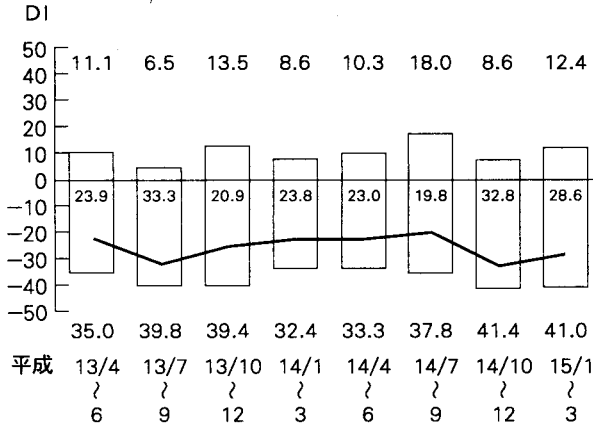
客単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



(3) 経常利益はやや改善(今期)

今期の経常利益の状況は、増加12.4%、減少41.0%で、DI値はマイナス28.6となり、前期のDI値マイナス32.8と比較して4.2ポイント増加しておりやや改善傾向にある。

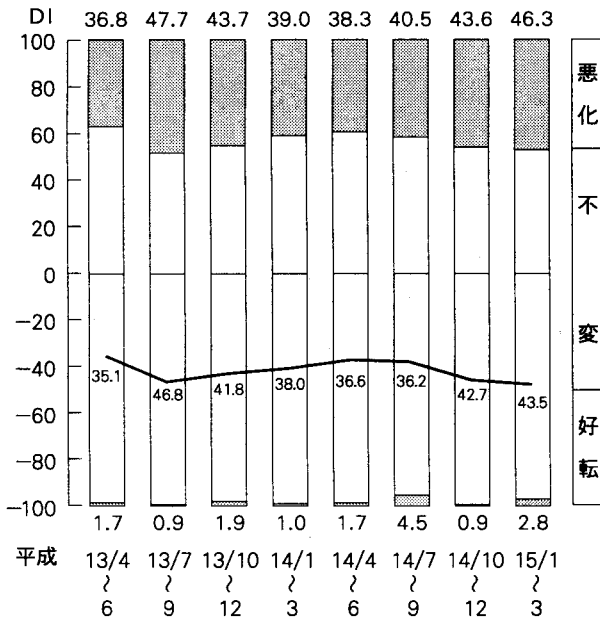
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りは依然悪化(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業2.8%、悪化した企業46.3%、DI値はマイナス43.5とマイナスを示しており悪化した。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 4月～6月期の見通し

業況はやや改善傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、経常利益ともやや下降しているものの、資金繰りはやや改善傾向を示している。全体としては来期の業況はやや改善傾向となっている。

小売業 主要項目の来期の見通し

項目	期	
	1～3月期	4～6月期
売上額		DI
		-63.3
経常利益		DI
		-59.3
資金繰り		DI
		-42.5
業況		DI
		-53.8

小売 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 1～3月期	需要の停滞 (34.6%)	大・中型店の進出による競争の激化 (15.4%)	購買力の他地域への進出 (11.5%)
平成14年 4～6月期	需要の停滞 (38.3%)	大・中型店の進出による競争の激化 (12.2%)	購買力の他地域への進出 消費者ニーズの変化の対応 販売単価の低下上昇難 (9.6%)
平成14年 7～9月期	需要の停滞 (34.5%)	大・中型店の進出による競争の激化 (18.2%)	購買力の他地域への進出 (15.5%)
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (32.7%)	大・中型店の進出による競争の激化 (22.1%)	購買力の他地域への進出 (18.6%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (28.4%)	大・中型店の進出による競争の激化 (20.2%)	購買力の他地域への進出 (14.7%)

広島県内中小企業景況調査結果

サービス業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年1月～3月期 **実績**
平成15年4月～6月期 **見通し**

V. サービス業の景気動向

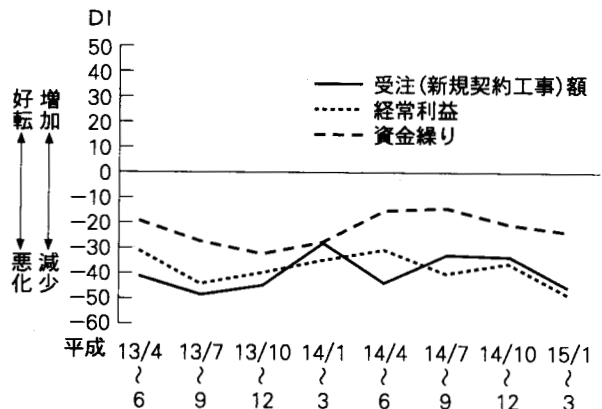
1. 概況(前年同期比)

業況は悪化。

平成15年1月～3月期の業況を概観すると、前年同期と比べた売上(収入)額、経常利益とも悪化、資金繰りはやや上昇しているものの、全体として低下悪化傾向にある。

【DI値】売上(収入)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



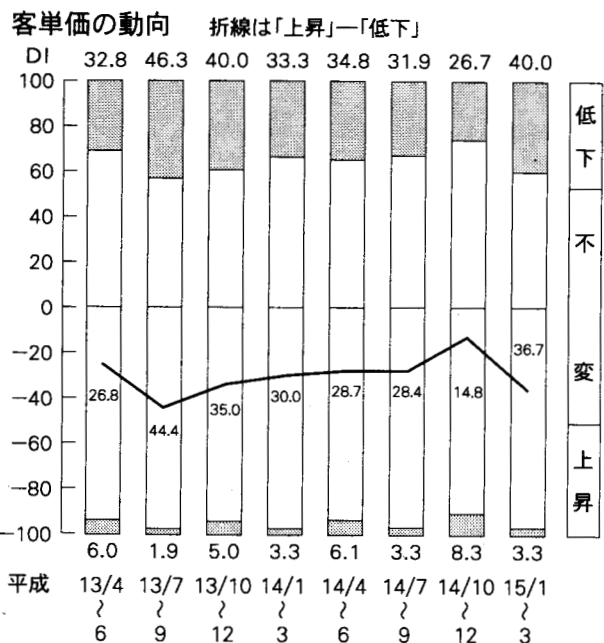
2. 1月～3期の動向

(1) 売上(収入)額は減少(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(収入)額の増減状況については、増加した企業が8.2%、減少した企業が54.1%、DI値はマイナス45.9となっており、悪化傾向にある。

(2) 客単価はやや低下(前年同期比)

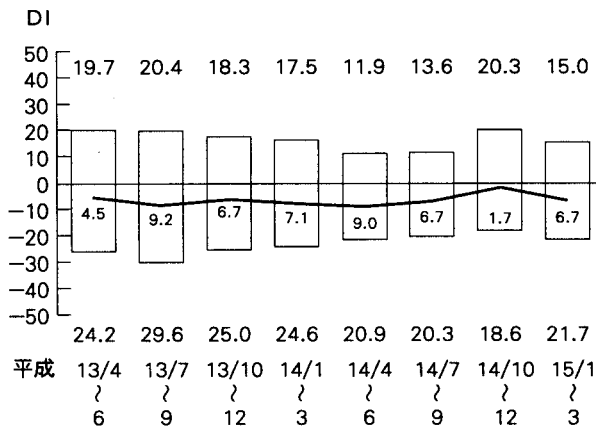
前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業3.3%、低下した企業40.0%、不変56.7%となっており、低下傾向にある。



(3) 経常利益は下降(今期)

今期の経常利益の状況は、増加15.0%、減少21.7%で、DI値はマイナス6.7となり、前期のDI値マイナス1.7と比較して5ポイント下降している。

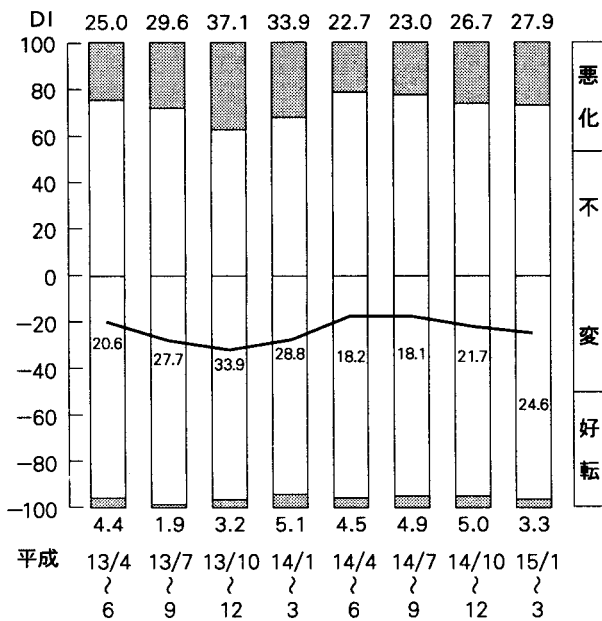
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りはやや悪化(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業3.3%、悪化した企業27.9%、DI値はマイナス24.6とマイナスを示しており、やや悪化傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 4月～6月期の見通し

業況は改善傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、資金繰りとも改善を予想する企業が多く、経常利益は減少を予想する企業があるものの、来期の業況は改善傾向を示している。

サービス業 主要項目の来期の見通し

項目	1～3月期	4～6月期
売上額	DI	DI
		-32.8
経常利益	DI	DI
		-29.3
資金繰り	DI	DI
		-20.7
業況	DI	DI
		-21.1

サービス 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 1～3月期	需要の停滞 (42.9%)	利用者ニーズの変化への対応 (21.4%)	店舗施設の狭隘・老朽化 (12.5%)
平成14年 4～6月期	需要の停滞 (39.7%)	利用者ニーズの変化への対応 (30.2%)	事業資金の借入難 (7.9%)
平成14年 7～9月期	需要の停滞 (33.3%)	利用者ニーズの変化への対応 (24.6%)	店舗施設の狭隘・老朽化 (8.8%)
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (42.9%)	利用者ニーズの変化への対応 (23.2%)	店舗施設の狭隘・老朽化 (8.9%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (46.3%)	利用者ニーズの変化への対応 (20.4%)	店舗施設の狭隘・老朽化 新規参入業者への増加 (7.4%)